

特集

派遣で輝く 「60代」

本誌調査「今、最も魅力的だと思う働き方」で、
「派遣」を最も多く選択したのは「60代スタッフ」!

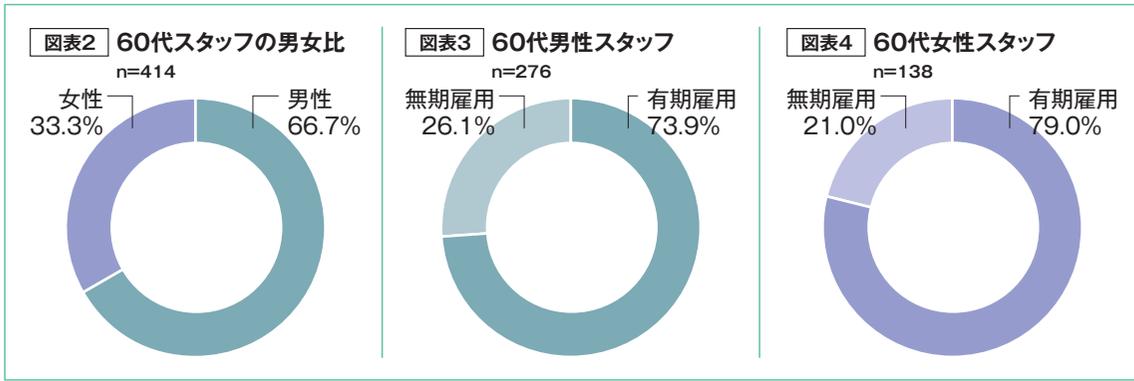
「派遣で輝く『60代』」—20年前の本誌なら、おそらく特集のテーマとしてはおろか、業界専門誌の企画としても実現はしなかっただろう。人手不足なども背景に、シニア人材の存在その戦力化への関心が、企業の間でかつてないほど高まっている中、60代の派遣スタッフの割合も増加傾向にある。派遣スタッフを対象とした本誌の独自調査では、いろんな働き方がある中で「派遣という働き方」に「最も魅力を感じている、人の割合では「60代スタッフ」が最も高い。派遣という働き方はなぜ、多くの60代スタッフを魅了するのか? —

「派遣で輝く『60代』」のクローズアップから、あらためて「派遣という働き方」に秘められた可能性を考える、そんな機会につながれば幸いである。 (本誌 伊藤秀範)

■調査概要■

●実施期間・・・2024年3月18日～22日 ●有効回答数・・・4000人 ●男女比・・・男性1567人(39.2%)、女性2433人(60.8%)
●年齢比・・・10代:3人(0.1%)、20代:329人(8.2%)、30代:770人(19.3%)、40代:1207人(30.2%)、50代:1277人(31.9%)、60代:414人(10.4%) ●雇用形態・・・有期雇用:2811人(70.3%)、無期雇用:1189人(29.7%)

※回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。



リユームゾーンになっている傾向は同様だが、例えば、東京都に関しては、同じ60代でも男性スタッフは14・1%であるのに対して、女性スタッフは19・6%と5・5ポイントの開きがある。東京都の全体平均は19・2%であるから、東京都に関しては男性スタッフの割合が、女性スタッフに比べてかなり低いことが分かる。

60代の男性スタッフに関しては、むしろ神奈川県(12・7%)と千葉県(8・0%)、そして北海道(5・1%)、福岡県(5・8%)などが、同じ60代の女性スタッフ、ひいては全体平均よりも高くなっている。

「60代スタッフ」とは言っても、調査の対象となったのは414人

であり、データの偏りは考慮すべきではあるが、今回のデータの限りでは、同じ60代スタッフでも「東京都、大阪府、愛知県」は女性スタッフ、「神奈川県、千葉県、北海道、福岡県」は男性スタッフの比率が高くなっている。

前述のように、60代スタッフを対象にした調査は今回が初めてであり、前回、前々回の比較はできない。そのため、男女で上記のような違い、傾向がある、とまでは言い切れないが、以下で触れる「業種・職種」との関係、つまり派遣スタッフには業種・職種における専門性があり、そのエリアに、例えば60代男性スタッフの就業比率の高い業種・職種が集中しているというケースもあるだろう。エ

「60代スタッフの業種・職種の割合」を示したのが、図表8である。比較の観点から他の性年代の同様のデータも掲載した。

こちらを見ると、60代の男性スタッフでは、「その他」と全世代的に多い「事務」を除くと、「物流」の11・6%が最多。次いで「IT・エンジニア」の10・1%、「研究・

60代スタッフの業種・職種の割合

各業種・職種で「存在感」増す「60代スタッフ」パワー

男性は「物流」、女性は「テレマ」で60代スタッフが活躍

男性比率が高い60代スタッフ

派遣スタッフを対象とした本誌の実態調査において、2024年3月調査から初めて年代層を「60代」まで拡大した。近年、シニア世代スタッフの取材事例も増加傾向にあり、各派遣会社における「60代スタッフ」の層も厚くなってきたとの感触もあり、今回、試験的に60代まで年代層を拡大して調査を行った。

4000人を対象とした調査であり、60代スタッフの参加が、果たして1000人を超えるかどうかも半信半疑ではあったものの、予想に反して414人。20代スタッフの329人(8・2%)よりも多く、全体の10・4%を占めた。

60代スタッフの男女比は、男性スタッフ66・7%、女性スタッフ33・3%と男性比率が2倍に。全体平均における男女比は、男性スタッフ39・2%、女性スタッフ60・8%の女高男低であり、20代から50代スタッフはいずれも女性比率が高いことから、60代スタッフの「男性比率の高さ」

は際立つ。

また、雇用形態では、男性スタッフにおける全体平均は「有期雇用」が73・9%で「無期雇用」が26・1%、女性スタッフの全体平均では「有期雇用」が79・0%、「無期雇用」が21・0%。それに対して、60代の男性スタッフは「有期雇用」が73・9%、「無期雇用」が26・1%、60代の女性スタッフは「有期雇用」が79・0%、「無期雇用」が21・0%であり、他の性年代との比較では、60代女性スタッフの有期雇用率の高さ(無期

雇用率の低さ)が目立つ結果に。

「東京都」で60代スタッフ割合に男女差

図表5のグラフは、10代から60代までの調査対象となった4000人の派遣スタッフの都道府県の分布である。これを「60代スタッフ」の男女に限定したグラフが、図表6と図表7である。

これを見ると、首都3県、大阪府、愛知県などの主要エリアでポ

